

J H F 理事会議事録

日 時： 2006年10月18日(水) 13:00~17:00

場 所： J H F 事務局会議室 (豊島区巣鴨 3-39-4 東都ビル 2F)

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 大沢 豊 議事録署名人： 西ヶ谷一志 下村孝一
議事録作成人：桜井加代子

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 大沢 豊 菊池守男 下村孝一
西ヶ谷一志 松田保子

【監事】對馬和也

(出席理事6名。今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 会長挨拶／各理事一言

菊池理事： PWC の件で現地(丹波市)を訪問して、よかったと思います。

JAA 発行の SKY SPORTS GUIDE (大空への招待) は FAI や各統括団体についてよくまとめられているので、JHF として有効に活用すべき。

西ヶ谷理事： 会員システム製作に集中しています。プログラムが予想以上に複雑になっており、一つ一つ問題を解決しながら週に25時間位事務局で作業しています。

松田理事： 来年の事業計画に着手しなければなりません。収支のバランスも改善されてきたので、元のように委員会主導の事業計画・予算作成を再開して欲しいと思います。

大沢副会長： 現在、分散しているシステム関連業務をエフェクトに一括してお願いしようと考えています。

4. 審議事項

第4-1号議案 JHF 役員選挙規定の改定について

荒井常任理事： JHF 役員選任に当たっては、民主的運営のために、一正会員の推薦枠を2名以内に抑えるべきだと思います。

菊池理事： 2名という根拠をもっと明確にしないと総会で説明できないのではないかと。

下村会長： 推薦枠の歯止めは必要なので、最大3名ということにして、制度委員会と選挙管理委員会に諮問してはどうかと思います。

議長： それでは下村会長の修正案について採決をしますので挙手願います。

一部修正の上採決し、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、下村、西ヶ谷、松田

第4-2号議案 フライヤー会員規定の改定について

担当理事欠席のため次回理事会で審議することになった。
申し送りとして、正会員への情報提供を個人情報保護の点から検討する、エリア管理者の指示に従うことを義務付けるなどの指摘があった。

第4-3号議案 教員検定員の追加について

西ヶ谷理事から別紙のとおり、教員検定委員の追加認定について提案がなされた。
審議の結果、香川県連推薦の候補者については書類不備（経歴書欠落）のため保留とし、栃木県連推薦の候補者について採決することになった。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で樋口和夫氏が教員検定委員に認定された。

賛成： 荒井、菊池、下村、西ヶ谷、松田

（付帯事項：川染忠明氏には経歴書の提出を求める。推薦書フォームに経歴書添付を明記すること。南九州、中国（広島、山口）地域に検定委員が必要であるなどの意見があった。）

第4-4号議案 口座振替サービス提携先の選定について

西ヶ谷理事の提案。フライヤー会費口座振替サービスについて、SMBC及びNICOSから見積もりを取得し検討した。その結果SMBCと口座サービス契約を締結することが報告され了承された。

第4-5号議案 ホームページに理事・監事・各委員長の掲示板を設ける

理事会で決定された内容などの広報が遅れている。

対策としてホームページに理事・監事、委員長の掲示板を設け、フライヤー・正会員へ積極的にピーアールしようというもの。（提案者菊池理事）

審議の結果、個々に作成されたメモが事前の了解を得ることなく直ちに掲示されることには問題があるとの指摘があった。このため松田理事から、その場で決まった事柄を確認し、それをメールで全員が確認した後にトピックスに掲載する案が示された。

議長により、原案を保留し、当面松田案に沿って実施することが提案され了承された。

第4-6号議案 2006年PG日本選手権補正予算の要求

参加者の減少などで収支がバランスしなくなるので、336,000円を追加助成するとの提案。
審議の結果、提案者によって取り下げられた。

第4-7号議案 JHFのIT関連の業務を外注に委託する

北野常任理事の提案（別紙）。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、下村、西ヶ谷、松田

第4-8号議案 PG日本選手権（カテ2）大会への参加外国人の身元引受人になる

西ヶ谷理事： 日本選手権に参加する外国人の内、中国人・ロシア人はビザが必要です。ビザ発給には身元引受人が必要であり、本人等から主催者に依頼がありますので承認願いたい。

下村会長： JHF主催の大会参加者については、JHFがビザ発給の身元保証人になるということです。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、下村、西ヶ谷、松田

5. 協議事項

5-1 FAI HANG GLIDING DIPLOMA 賞の推薦

協議の結果、該当者なしで報告することになった。

5-2 PG教本改訂の予算見直し

理事会のコンセンサスを得るために提案されたもの。

協議の結果、もう一度業務計画と見積書を提出することになった。但し既に仕事は開始しているため60万円を仮払いすることにした。(60万円の支払依頼書に、居合わせた理事全員の署名を得て支払うこととした。)

5-3 教員更新講習会開催について

荒井常任理事の提案。教員更新講習会をスムーズに実施するため、都道府県連盟の講習会に加えて、全国の教員検定員の下でも講習が受けられるようにしたい。

具体的カリキュラムについて、教員・スクール事業委員会、検定員合同の場所で打ち合わせを行いたいというもの。

次回理事会で審議事項としてとりあげることになった。

5-4 日本選手権の開催年の変更検討

提案者により取り下げられた。

5-5 中国学連冬合宿 in 神の倉公認キャンセルの件

JPA 登録学生を参加させたいとの理由で、JHF 公認大会をキャンセルしてきたことへの対応。大会日程も迫っており、JHF 公認の下に大会を主催してもらうことを優先し、学連に対して助成金を増額することにした。

具体的には、対象となる JPA 学生のフライヤー会員登録料を学連が負担し、その費用を JHF が肩代わりするというもの。学連理事長棕本氏を通して通知することで了承された。

5-6 JHF エリア安全管理ガイドライン

安全性委員会桂委員からの提案。この文案を骨子として、項目ごとに実例を収集するとともに、現場の実情に合わせて実効性ある安全管理ガイドラインを作成するというもの。

さらに具体的に作業を進めるよう依頼することになった。

5-7 パイロットへの教訓

菊池理事の提案。

スクール・クラブ通信に同封し、広く配布することになった。

5-8 スクール・クラブ通信コンテンツ

11月原稿は下村会長が作成することになった。

6. 報告事項

6-1 予算収支：進捗管理表

下村会長から現預金残高の動きについて説明した。

6-2 9月フライヤー会員登録・技能証発行実績

9月会員登録実績は対前年度86.2%、年度累計では118.5%。技能証実績についてはシステム構築中のためデータなし。

6-3 丹波市長訪問結果

10月10日・11日、菊池理事、岡 CIVL デリゲートが丹波市長を訪問し、2007PWC 兵庫開催に向けての協力を表明した。詳細は別紙菊池理事報告書の通り。

6-4 沼田警察署の調書作成

10月4日、JHF 事務局において、沼田警察署調書作成に菊池理事が協力した。調書の内容とそこから得られた教訓についての報告。同署では、指導教員の管理下にある練習生の安全確保は教員の責任であるとしており、この点についての理解が重要である。詳細は別紙の通り。

6-5 神崎フライト同好会への回答

舞鶴・神崎フライト同好会への回答(案)について報告し了承された。

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(大沢 豊)

署名人

(西ヶ谷一志)

署名人

(下村 孝一)

議事録作成人：桜井加代子